



市議会議員

# 山下みきお

第37号

みき通信

発行者: 山下幹雄(尾張旭市議会議員)

488-0076 尾張旭市新居町山の田 3208-20 TEL: 0561-52-4344

平成15年初当選。現在3期目(維新の会・福祉・改革ライン代表)

## 賛同できない! 意志無き給与ボーナス引上げ

尾張旭市議会 12月定例会における主な議論や議決を報告させて頂きます。本年度一般会計の補正予職員給与期末手当の引き上げ条例改正案が審査されました。あわせて特別職である 市長・副市長・議員の期末手当(ボーナス)の引き上げも審査され賛成多数で可決されています。

### 人事院勧告に基づいた人件費の増額

市長: 22万3千円のボーナス増額

副市長: 17万9千円のボーナス増額

議長: 11万5千円のボーナス増額

副議長: 10万円のボーナス増額支給

議員(1人当たり) 9万2千円 „

職員: 平均.039%引き上げで、給料・勤勉手当の全合計で約3,347万円

**【山下みきおの論点】** 今回の人事院の勧告について考えるのですが、政府が云う景気回復は、実体経済を伴わない「お金の空中戦のようなもの」ではないかと思います。GDPは、マイナス傾向から抜け出しておらず、給料は上がったが物価も上がり家庭のお財布もマイナス成長となっています。更に、ここで給料が上がった職種はと言えば、金融関連と経団連に名前を連ねる超一流企業の正規労働者が中心としか思えません。それも、政府との取引の中での約束事であり、どうも一部の人たちで創り上げられた、虚構のような政策に思えてなりません。

そして、公務員給与の引き上げも国、地方合わせて340万人の給料引き上げによる1兆円の経済効果と云う、数字あわせに組み込まれている

わけです。中小零細事業者並びに、  
そこで働いている方々や非正規労働者、年金生活者には、この政策の恩恵をどこに見出したら良いのでしょうか。

政策に、政党や政治家自らの権力保持的観点が少しでも入ったら、必ず何処かでほころびが出てくるでしょう。そんな感覚を持たせる「人事院勧告」であったように私は思いました。

真に地域民の立場に立って政治を進めるには、官僚による中央集権に対峙し自立した政策を自らの意志で進めるべきだと考えます。

私は、この中央集権的な手法において、地方の意志を示さなかつた条例改正に  
**賛同しません（反対）**  
でした。

ちなみ

●長久手市では、市長・副市長のボーナスを引上げることは、議案にも上がらず据え置き。(市長の意思で上げなかつた)

●議員のボーナスの引上げの審査は、長久手市をはじめ長野佐久市などでも廃案となっています。(自らの意思で据え置きとした)

## 衆議院総選挙の所見

暮れの慌ただしい中実施された解散総選挙。終わってみれば現政権の思い通り感があります。

安倍首相は、何がしたかったのでしょうか。次の政策を進める為の担保を国民から取ったわけですが、戦後最低の投票率52.66%とマスク誘導による政治戦略は、とても理解できるものではありません。「給料上がったでしょ・・」「雇用も増えたでしょ・・」「株価も上がっているし・・」確かに数字的にはそうかもしれません、この数字の作り方に問題があります。

私の所属する維新の党は、大切な経済政策や税制課題を推進するためには、国民との信頼関係が必要であり「政治とカネの問題、天下りや既得権保持の組織体質改革」を訴えました。私も「正直者が馬鹿を見ない社会にしたい！」その強い意志で政治に取り組んでいます。



SNSで情報発信中！検索→山下幹雄

**HP:yamamiki.com**

お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

# 山下みきお は、次期愛知県会議員選挙、維新の党公認候補予定者として公表されています。

[http://ishin-aichi.jp/1st\\_kounin.html](http://ishin-aichi.jp/1st_kounin.html)

(維新の党愛知県総支部 HP をご参照下さい。)